

#020

File NO. MOISS PRESS

設計変更して
MOISSを採用した。
良いものは自ら使用してこそ自覚できる。



玄関からのアプローチ。子供部屋、主寝室への中廊下。屋上からの入口と駐車場 建物全景

福岡市内の開静な住宅地、小高い山の中腹にある市立動物園の南側に位置する緑溢れる敷地は、遠く油山や背振山を望するロケーションに建つアパートメント。また、なんとしかもこの敷地が特徴的。敷地は道路面から急な下り坂になっている。この敷地条件を利用してアパートメントが建設された。プランは、道路から直接アパートの屋上に駐車スペースを設け、各住戸へはエントランスゲートから階段を降りて各住戸に行くという構成をとっている。

物件DATA	
件名	ガーデンアパートメント・細田部
場所	福岡県中央
用途	緑・RC造4階建(賃貸7アパートメント)
設計	西部建設(株)
施工	西部建設(株)
構造	木軸、一部軽量鉄骨
部位	玄関、中廊下、個室2室内壁
竣工日	2003年10月

使用商品	MOISS 6mm
工事費	

施主DATA

正直、これから実感することになるかと思いますが、と細田さん。まずはベット奥で実感。梅雨の時期での状況だね。との証言をいただきました。

工事途中で設計変更
このアパートメントはそのほとんどが二住戸約60㎡の独身者を想定した賃貸ルームで構成されている。
このアパートメントのオーナーである細田さんは一階にお住まいで、MOISSの話を知ったときには、すでにこのアパートの内装は在来工法(石膏ボード+クロス貼)で建設が進められており、再度施工工図を調整し、MOISS6ミリを石膏ボードの上から貼り、施工したといえます。良いものは自ら使用してみたいとのアパートメントのオーナーというより一人の健康を志向する執着心がそうさせたといえます。
使用部位は、玄関ホールから中廊下の周辺壁、そして2部屋ある子供部屋。それぞれおよそ6帖の室内壁にMOISSを使用しました。床材はF4 建材を使用していることから、微量でもたくさん集まればという念の入れようから、室内の化学物質濃度の測定も実施するという気の使いようでした。「新しい家で病になる、シックハウスは大きな問題ですからね」と細田さん。MOISSを使用しながら化学物質の濃度が主原因なのかどうか、少し釈然としない状況ではあったようですが、試験を実施したといえます。結果、化学物質の

愛のゲンコツ
まだ² MOISS
MOISS一言!!

MOISSにして良かったと思っています。今後、もっと認知度、物量が上がリ、価格面でも落ち着いてくると思います。安値で高い性能そして体にやさしい建材を望んでいますから。

MOISSの向上のためにみなさんの御意見を伺うコーナーです。

CHECK!!

今回の仕上がり満足度
意匠性満足度
MOISSお薦め度

濃度は極めて少なく、体調を崩した直接的な原因ではないとの判断でした。
使用後の感じは
犬を飼っていることから、これまでなら犬の臭いが玄関マットなどに染み込みどこか臭いが残留していたが現在では気にならなくなると、臭いでの違いを例にお話いただきました。食食同源ではありませんが、家というのは健康の源で、「(医・衣・食・住)の三位一体がうまくバランスして成り立つものですから」と、身近な建材の重要性をお話いただきました。